

土岐市西部こども園 自己評価票（令和6年度）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価	コメント
①園の保育方針を理解している。	A	園の保育方針を基にクラス保育の目標を立て、発達段階にあった計画に繋げることができた。
②園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	A	
③担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A	
④各年齢の発達段階合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	A	
⑤自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	A	

2. 保育の内容

内容	評価	コメント
①保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	A	職員は、園児一人一人の思いを受け止めることに重きを置いて保育を進めていた。
②子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	A	
③子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A	
④身体的、精神的、情緒的発達等、多面的に子どもの状態を把握している。	A	
⑤保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	A	
⑥行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	A	
⑦特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

3. 園の組織・役割分担

内容	評価	コメント
①職場内で連携がとれている（連携をとるように努めている）。	A	- 職員間の情報伝達は確実に行われていた。 - 一人一人が自分の役割を理解し、真摯に保育に向き合っていた。次年度は、園全体をさらによくするための提案が職員から出されるとよい。
②研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	A	
③職員間で「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」ができている。	A	
④職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	A	
⑤保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	B	

内容	評価	コメント
⑥各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A	・経験の浅い職員も意見を出しやすい職員会の進め方を考えたい。
⑦各職員が職員会などで必要と思う質問や意見を発言することができている。	B	
⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	A	

4. 家庭・地域社会

内容	評価	コメント
①保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	A	・他園の保育を見て学ぶ機会を設けづらいことが課題である。 ・関係機関との連携は、必要な場面で確実に行うことができた。
②送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	A	
③保護者に子どもの伸びているところや課題を伝えるなど連携をとっている。	A	
④家庭との連携を図るように努めている。	A	
⑤家庭環境及び食事習慣等園以外での子どもの状態を把握している。	A	
⑥地域や保護者の意見を保育等に反映している。	A	
⑦他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	B	
⑧保護者により対応を変えていない。	A	

5. 事務管理・運用

内容	評価	コメント
①個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	A	個人情報厳守の重要性については職員会等で確認するようにし、各自が意識できた。
②園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている。	A	
③金銭等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている。	A	

6. 総評

職員一同、園児の健やかな成長を願い、幼児理解に努め、一人一人に合った保育・教育を心がけてきた。

保育教諭としての資質向上を目指して、互いの保育を見せ合う研修を年間通して実施してきた。

また、保育・教育目標を園児に分かりやすく伝えるために園のキャラクター「セイブマン」を作成・利用するとともに、年上の子も年下の子も共に育ち合う目的で「異年齢交流」を多く取り入れた。